

スマートフードチェーン プラットフォームukabisの構築

データ連携に基づく食品流通の 新たなプラットフォーム

大項目1

ukabis あらゆる食に、新たな価値を。



ukabis

あらゆる食に、新たな価値を。

01

About ukabis

ukabisとは

スマートフードチェーンプラットフォーム「ukabis」は、スマートフードシステムを叶えるための、生産、加工・流通、販売・消費、資源循環、育種/品種改良におけるデータ共有を可能とする情報連携基盤です。

ukabis運営法人につきまして

ukabisは一般社団法人スマートフードチェーン推進機構にて運営します。

2022年8月8日 設立

一般社団法人スマートフードチェーン推進機構

住所 東京都千代田区九段南4-8-21山脇ビル10階(流通経済研究所内)

代表理事 折笠 俊輔(公益財団法人流通経済研究所)

理事 名取 雅彦(株式会社マインズ・アイ 代表取締役)
藤井 明(一般財団法人アグリオープンイノベーション機構代表理事)
輪島 智仁(SBITレーサビリティ株式会社 代表取締役)
和田智之(国立研究開発法人理化学研究所)

監事 島津 秀雄(慶應義塾大学 特任教授)

活動内容

① 業界団体活動

スマートフードチェーン推進活動

スマートフードチェーンに関する勉強会、レポート、フードバリューネットワーク参加機会などの提供

② データ基盤事業

プラットフォーム運営事業

- ①ダッシュボード・ビューアー等の付帯サービスを提供するデータ連携基盤事業
- ②マスタデータ提供事業
- ③収集データを活用した統計データ販売のビッグデータ解析事業の3サービスの提供

プロフェッショナルサービス事業

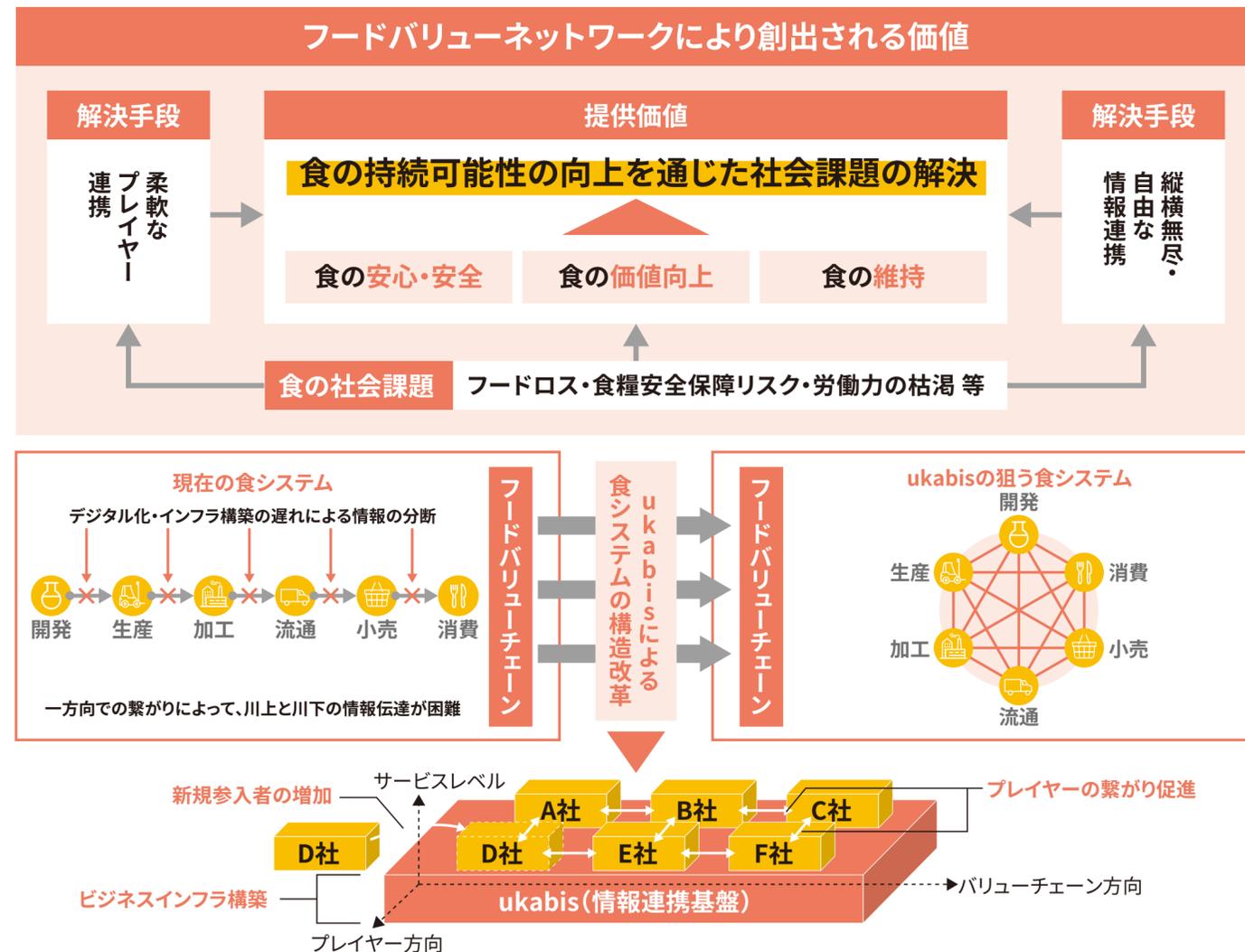
データ連携・サービス開発に向けたコンサルティング、シンクタンクサービスの提供

02

創出する価値

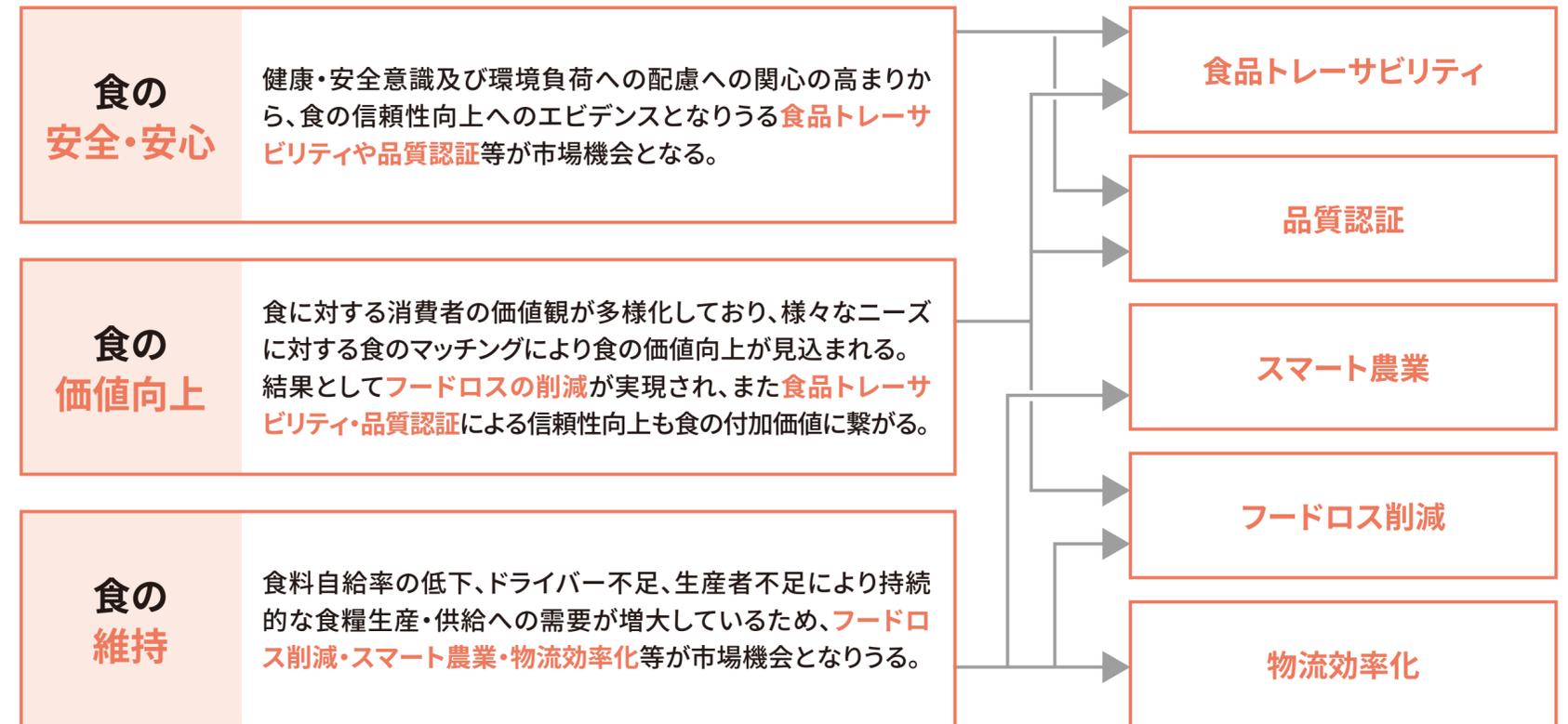
～フードバリューチェーンから
フードバリューネットワークへ～

食におけるビジネスインフラであるスマートフードチェーンシステム「ukabis」により、参画事業者による**フードバリューネットワーク**が形成され、**様々な社会課題の解決・価値提供が実現**されます。



ukabisの価値提供に紐づく市場機会

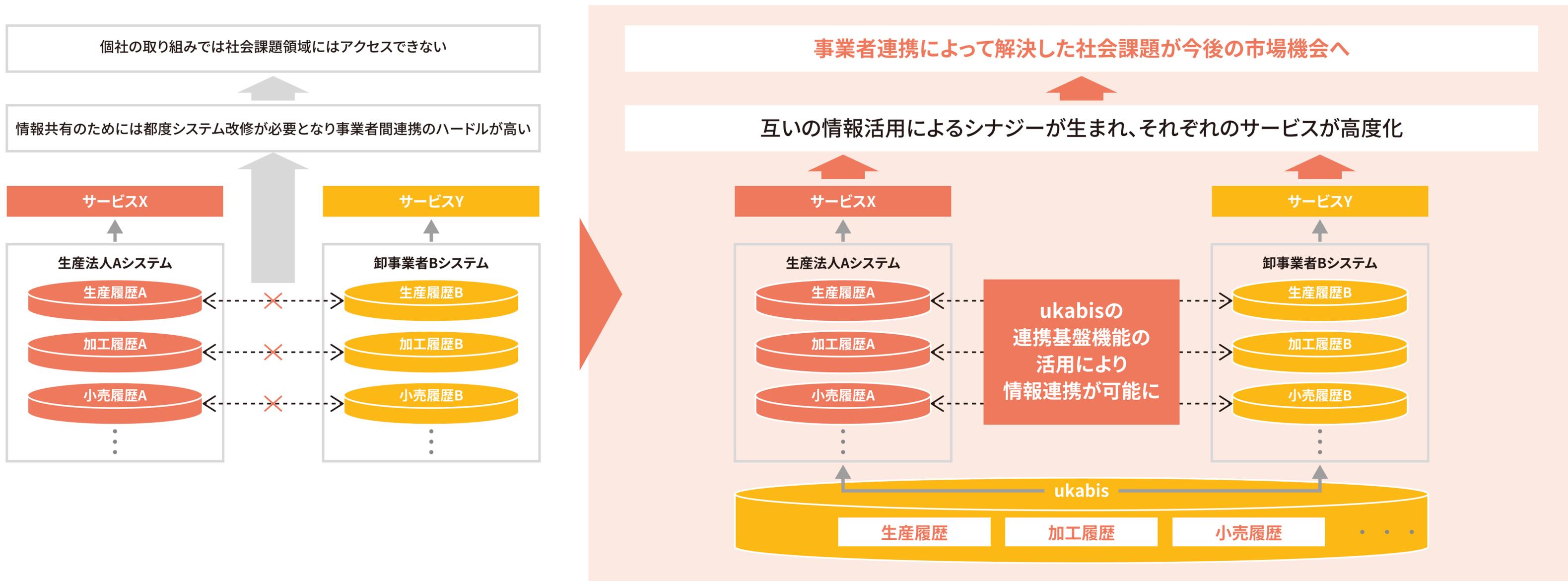
ukabisにより解決される社会課題が市場となり、様々な市場にビジネスの機会が訪れる



03

実現されるコト (事業者の連携)

ukabisが実現する**事業者間連携を通じた**各社のサービス高度化により、事業者にとって社会課題解決がもたらす事業機会の獲得や収益拡大に寄与



04

ukabisの機能を
活用して創出される
参画事業者の

サービスイメージ

ukabisが保有するデータ連携のハブ機能、共通マスターの提供機能及びukabis活用のためのアプリケーション機能を事業者が組み合わせ、活用することで様々なサービスが創出されます。

鮮度 鮮度に敏感な水産物の流通品質と共に

新鮮なまま店頭へ届けるため、水揚げ・選別された後せりにかけられる旬の香住(かすみ)ガニ。鮮度、流通品質を担保するとともに旬の香住ガニを関西のスーパーへお届けしました。

まずは、新鮮なまますぐにボイル・冷却・箱詰めされた香住ガニにQRコードとセンサーを取り付け、ukabisで出荷登録を行いました。冷蔵車で関西のスーパー3店舗に配送し、店舗にてukabisへの入荷処理をした後すぐに店頭で販売しました。

「香住ガニの大冒険」として香住漁港から店舗に向かってくる流通の環境条件(温度・湿度・衝撃)を店頭でQRコードを掲示して確認できるようにし、新鮮なまま届けられていることをデータでも確認できるようにしました。

事前にLINE等で香住ガニの入荷告知していたこともあり、到着した香住ガニは売れ行きが良く、見事即日完売。

ukabisからの商品情報や水揚げから出荷までの様子などを活用すれば、さらに効果的な事前告知が可能となり、「ライブ感やワクワク感を持たせたお客様への情報提供に活用することができそうだ」との現場からの意見をいただいています。



日本海で水揚げされる紅ズワイガニの中でも、香住漁港で水揚げされたものだけが「香住ガニ」と呼ぶことができます。深海ミネラルたっぷりの海洋深層水で育った香住ガニは、甘味が強く、瑞々しいのが特徴です。

連携事業者 ● 但馬漁業協同組合 ● 阪急オアシス

JAS 朝採れレタスのJAS認証へのサプライ

シャキシャキとした食感が特徴であるレタスは鮮度が命。お客様に鮮度をわかりやすくお伝えすることの意味を探るため、朝採れレタスの収穫時間と予冷・低温管理の取組をukabisで見える化し、スーパーのお客様にお伝えしてみました。

株式会社栄農人では、長野県の八ヶ岳南麓から、大阪のスーパーに朝採れレタスを出荷しています。その品質をわかりやすく伝えるため、収穫後、真空予冷をかけたレタスにQRコードとセンサーをセットし、ukabisで出荷処理や、輸送中の温度記録を見える化しました。

実証3店舗に届いたレタスは瑞々しく新鮮そのもの。朝採れレタス専用の袋に入れられ、輸送中の経路と温度を店頭のPOPとアプリで見える化して売り出され、すぐに完売となりました。

実証で見える化に取り組んだトレーサビリティと輸送環境情報を、認証対象とする「フードチェーン情報公表JAS」の制定作業も進んでいます。高品質な農産物を安心して購入できる日が近づいています。



連携事業者 ● 栄農人 ● 阪急オアシス

輸出 品質管理が困難な輸出への対応 ～イチゴを事例に～

国産青果の輸出拡大を目指し、産地情報と輸送環境情報の見える化も含めたトレーサビリティ情報を現地消費者に見せる輸出実証を実施しました。

すでに、海外市場での偽物対策や物流品質向上を重視し、2019年に輸出用標準コードの整備、2020年に輸出トレーサビリティキャリア(RFID等)の実証比較とブロックチェーン活用等の実証を行なっていました。

今回の実証では、出荷情報・輸送環境の記録や、青果の特徴・生産のこだわりまでも届けるため、現品に貼られたQRコードをスキャンすることで消費者に見せることができる仕組みをukabisと連携するSBIトレーサビリティにより実現しています。

対象は栃木県の藤田農園のイチゴ。出荷情報や、シンガポールまでの温度や衝撃などの輸送環境の記録など、イチゴの特徴や生産へのこだわりといった情報を、実際にQRコードを添付した商品をシンガポールの高島屋の店頭で販売し、大好評で完売することができました。



「Check out the strawberry info!」と書かれたQRコードと共に

連携事業者 ● 藤田農園(栃木県) ● SBIトレーサビリティ株式会社 ● 高島屋 シンガポール店

05

ukabisの機能を
活用して創出される
参画事業者の

サービスイメージ

参画事業者のサービスイメージ

ukabis保有機能

データ連携のハブ機能

- フードチェーン情報*1の提供

共通マスターの提供機能

- 事業者情報の提供
- 商品情報の提供
- ロケーション情報*2の提供
- 品目情報*3の提供

ukabis活用のためのアプリケーション

- フードチェーン情報の可視化機能*4
- 個体識別番号ラベル発行機能*5

参画事業者のukabis保有機能の組み合わせ・活用によるサービス創出・高度化

ukabisの機能を活用した参画事業者のサービス例

- 食品トレーサビリティ
- 物流効率化サービス
- 生産予測サービス

*1: フードチェーン上の入出荷情報やセンサー情報など *2: 流通工程における商品の位置に関するセンサー情報 *3: 輸送時の最適温度などを含む商品に関する品目カルテ情報

*4: QRコードによる消費者への情報開示/ダッシュボード&ビューアーによる事業者への情報開示 *5: QRコード等の発行に向けたソフトウェア



ukabis

あらゆる食に、新たな価値を。



大項目3

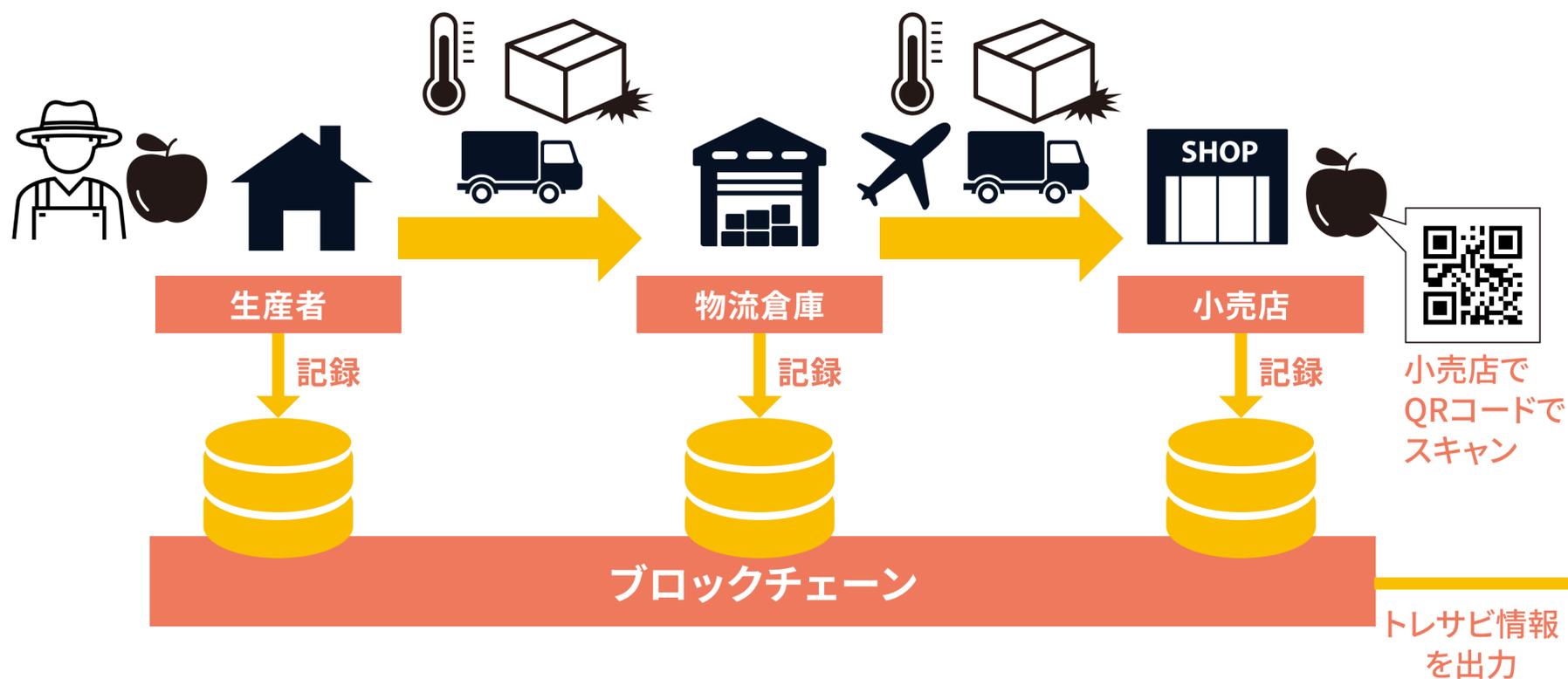
輸出プラットフォーム(改ざん防止)

輸出プラットフォーム(改ざん防止)

輸出におけるスマートフードチェーンシステムの開発

2030年の農林水産物、食品輸出5兆円目標に向けた日本産品の価値向上

- ブロックチェーンを活用した情報連携による安全・安心の担保(生産者、温度履歴の管理等)による拡販効果
- 簡便な温度履歴管理による、品質管理の向上(廃棄ロス削減)



生産者や農産物等の情報



商品の流通経路



生産者～小売店間の温度推移